

高所からの水中転落による損傷に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2004年1月から2020年12月までに、琉球大学法医学講座にて解剖をうけた方。

2. 研究目的・方法

ご遺体に見られた外傷が、どのようにできたのかを説明することは、法医解剖の基本的な任務の一つです。また島嶼県である沖縄では、いわゆる水中死体（漂流死体）を日常的に経験し、それらにはしばしば様々な外傷が認められます。この中には、入水時に高所から転落し、水面との衝突によって成傷されるものが含まれていることがあります。

しかし、水面との衝突によってどのような外傷ができるかについての報告は少なく、上記のような判断は、執刀医の経験に頼るところが大きいのが現状です。そこでこの研究では、沖縄県における、これまでの高所からの水中転落事例を分析し、その外傷の傾向について検討することで、水面との衝突による損傷の特徴を明らかにします。

このような検討により、水中死体の解剖における、入水時の状況や入水地点の推定に役立つ、捜査の一助となる情報を得ることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

事例情報：解剖所見（死因、損傷等）、捜査情報（発見時の状況、推定される転落の高さや水深、大まかな年齢、性別、既往歴等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するお問い合わせ、また、協力を望まれない場合は、以下の問い合わせ先にお申し出下さいますようお願いいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

機 関 名：琉球大学大学院医学研究科法医学講座

住 所：沖縄県西原町字上原 207 番地

電話番号：098-895-1141 メール：ninomiya@med.u-ryukyu.ac.jp

研究責任者：二宮賢司

-----以上